

倉吉ハイスクールフォーラム2017

平成 29 年 12 月 23 日（土）

倉吉市上灘公民館

1 参加者 144名（中学生25名、高校生27名、学校・行政関係者・地域住民92名）

2 報道

日本海新聞社（12月26日報道）、

日本海ケーブルネット（特別番組を作成し後日報映）



3 感想

【中学生】

- ・自分たちが自ら体験することが大切だと感じた。自分たちの活動をたくさん発信していきたい。
- ・色々な高校の様子が知れてよかった
- ・来年の受験に繋げていきたい

【高校生】 記述中

【行政】

- ・失敗を怖がらず色々なことへの探究心をいつも持って暮らして欲しい。自分の言葉で表現し素直な気持ちをいつも持って様々なことを経験して欲しいと思っています。頑張ってください。応援しています。
- ・高校の保護者説明会などで聞かせてもらうといいなあと思いました。中学の早い段階で、夢をもって生き生きと学んでいる高校生の姿は親にも子にもいい刺激になると思います。発表もともと各校それぞれ興味を持ちました。あわせて、意見交換での質問にも一生懸命答えている高校生の姿が良かったです。また新たな気付きが今後の取組みに生きると思います。
- ・高校生たちがこんなにも頑張っているんだと元気をもらいました。河北中の卒業生たちも活躍していて嬉しく感じました。来年は是非もっと多くの中学生たちに参加させたいと感じました。

【地域】

- ・感動と刺激を受けた時間でした。もっとたくさんの中高生の参加があればよかった。聞かせてあげたかった。私たちの高校生時代とは変わってきているが、素晴らしい発表・楽しい発表でした。高校生が頼もしく思いました。継続を望みます。
- ・個別の高校の枠をこえたフォーラム企画は素晴らしい。また、各高校においても産・官・学・地域の連携がもう当たり前のように教育の中に取り入れられていることに感銘を受けました。

4 講評

鳥取県教育委員会参事監兼教育人材開発課長 足羽英樹

このフォーラムの開催にあたり、企画して下さった倉吉市教育委員会に感謝いたします。

高校生の姿、活動がなかなか見えないということがありましたが、本日のプレゼンテーションでその活動が分かったと思います。なにより、この空間と時間を共有できたことが大切で、高校生の姿が身近で、息づかいを感じられて良かったと思います。

今日の発表で共通していたことは、体験の大切さです。机上で勉強していることだけではなく、手や足や肌で感じたことが大切で、それがほんとうの力となっていきます。活動を通して周囲の人との関わりを持ち、それが生きる力となります。

「自信」という漢字があります。自らが人に考えや思いを言うことで、自信が芽生えます。今日のフォーラムのように、多くの人前で話したことが力となります。伝える力が育ちます。

倉吉、そして中部地区は、昨年地震でたいへんな被害を受けましたが、今日の高校生を見て、大丈夫だと思いました。高校生・中学生・地域の皆さんとのつながりもできました。この場を共有できたことは、大きな財産だと思います。今後の活躍を期待して、挨拶いたします。

5 新聞記事等

倉吉総合産業高校くらそうやせんべいを参加者に全員に配布



平成 29年 12月 26日

日本海新聞

